

21.04.17-20初春

オオミスジ・ヒメジヤノメ・ジヤノメチヨウ
等
(つじ)

昨秋から継続して見てきた幼虫たち。無事に越冬できているだろうか？

美々を起点として、(天候が悪いこともあり)昼のうちに道南に走り、翌日にかけて幼虫を探してみた。

春開始

乙部町4/19
オオミスジ

木々の新緑はまだ芽吹いていないが、北辛夷の白い花が咲き誇り、北海道の春が始まっている(左下)。通いなれた乙部の公園はすっかり衣替え。歩道・階段が整備されていた。(右写真)。

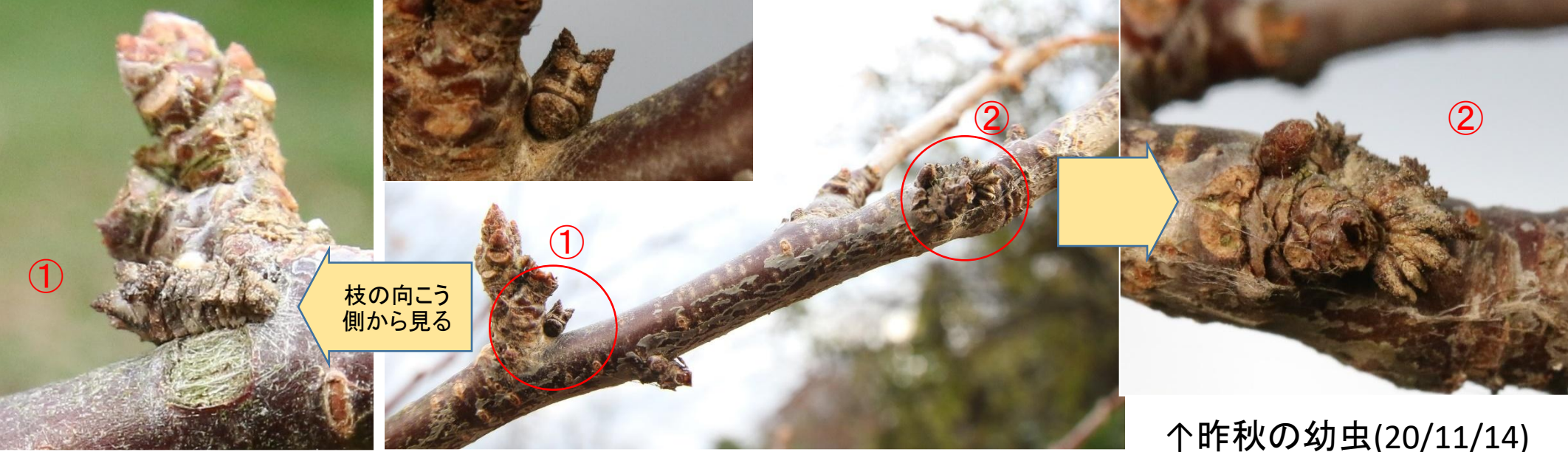
園内には何本もウメが植栽されている。道の脇、手の届く範囲の小さな木が毎回のターゲット。



階段最上階から



下から上を臨む



①

枝の向こう側から見る

①

②

②

↑昨秋の幼虫(20/11/14)

↓今春の幼虫(21/04/19)

昨秋には3個体確認できた。
発見できたのは1個体のみ(②)。
全く動いていない。

次回、無事に活動が再開されているのを祈っています。



①いない



①は台座を残してどこかへ...

②はそのまま静止していた

2020厚沢部
ヒメジャノメ

昨年(2019)の現地写真(下)にはあちこちにピンクテープが見られる。10月には14個体の幼虫が確認できた。しかしその半分ほどの個体は水たまりに入らねば地面に降りられない状況。その結果？11月には、①と②の箇所にはしか幼虫が確認できなかった(計7頭)。



②ポイント
林道沿いに、大きな株のスゲが3株並んでいる。計4頭確認。(上の緑系幼虫1頭含む)

2020/11/14

①ポイント
轍の溝に対し、水面から小高い塊になっている。11月には3頭の幼虫が確認できた。

↑増減あるが常に水が溜まっている状況。8月に産卵を確認したのも、水から直接出ている食草だった。

上: 少ない食草の量で回りを食べつくしている褐色系の幼虫
下: 水面から出た食草についている幼虫が何頭も・



厚沢部4/18
ヒメジャノメ

夕方に厚沢部着。雨の降る中、「いるかな?」と探し始める(①ポイント)。
昨秋幼虫がついていたスゲには新しい食痕。もう活動を開始しているようだ。



↑1: 轍。水が溜まっている中の小高い場所が秋にいた場所。

↓2: よく見ると新しい食痕



3: しばらく探している
と食草に発見。
このあとも探すが、
他に発見できず。
(16:10)

↓

→

4: 近くのPで夕食、暗くなり再度確認...。
上下逆になっていた。(18:46) →



厚沢部4/19
ヒメジャノメ

翌日に①ポイントの再調査。前日の食草付近に2頭を追加。
この株では計3頭となり、昨秋とちょうど同じ頭数発見できた。



近くの枯葉の裏に3頭目。
まだ活動始めていない？

2頭目の幼虫が夜間摂食(18:30～)

枯れた部分との境目で緑の部分を食べている。
そのため枯れた部分は切り落とされた。↓

19:00頃下がり始め、葉の裏に静止？ →

↑前日の幼虫
↓葉裏に2頭目



厚沢部4/19
ヒメジャノメ

昨秋4頭確認できた水たまり脇のスゲの株を探す(②ポイント)。
時間かかったが、2頭発見。合計で3+2=5頭になった。

刺激で「の」の字になった
幼虫が落ちてきた。



←幼虫は歩き始め、脱糞。
↓その後登り始めた。↓



↑秋に比べると枯れた
葉が多く、絡み合って、
内部に幼虫がいるか良
くわからない。

←両手で空間を作るよう
にしてようやく発見！
緑系の幼虫だ。
緑系は秋にもこの株で
確認したので
その個体か？



上ノ国4/19
ミヤマカラスジミ

3卵しか確認できていなかったが、
行ってみた。



厚真4/18
ギンイチモンジセリ

越冬前(10月)は十数頭の幼虫を確認して
いたが、この日確認できたのは一頭のみ。

上: 枯れた葉に巣
下: 開けてみると幼虫の腹部。
越冬後に作った新しい巣のようだ。
この中で蛹化か? 例年のことだが越冬後
は数をかせげない...



食樹のクロウメモドキはこの様に芽吹きが始まっていて、卵は穴が開き孵化し
た? 近くの芽を探したが幼虫の痕跡は見当たらなかった。



美々4/17
ジャノメチョウ

四月中旬、この時期の幼虫はあまり観察しておらず、楽しみにしていた。



13:59美々に行くと必ず撮影する美々川
季節の移り変わりがいつも美しい。
いかにも初春。新緑もあるが木々の枝はまだ褐色。



道から眺めると、湿地にはたくさんのミズバショウ
の花が咲き始めている。

美々4/17
ジャノメチヨウ

幼虫探索はまず「食痕」探しから

14:59 到着後一時間。食痕から探索し始めて ? 回目によようやく発見。どこかわかります？



地面から突き出ているイネ科の葉先を見ながら食痕を探す。
たま～に発見できて「これは！？」と探すが見つからない。



←体調7～8mmの2齢
その食痕？→

夕方探索はこの1頭のみ。



美々4/17夜
ジャノメチヨウ

この時期の夜間摂食を確認したく
18:42～雨の中探索開始。7.3℃
約一時間探索も夜間摂食見ず！



LEDライトで食痕
から1頭発見。

持ち帰って飼育
することに...

美々4/18朝
ジャノメチヨウ

7:55 一頭発見。自然状態ではこのように食草の下で休んでいるようです。撮影しようと手前の枯れ枝をどけるとその気配を感じ取り、気絶？する用意で頭を離れた。(↓)



美々4/20夕
ジャノメチヨウ

17:36 横浜帰還へ荷物をまとめると、10分ほど時間が余った。
道路を軽く流し見...、と今回初めての摂食幼虫発見！
TG撮影も、いつもの通りピントが合わない。

焦るうちに幼虫は気絶寸前(左)。下に手をかざすもそれを超えて幼虫が落ちた。
見つからず焦ったが「の」の字の幼虫ようやく発見(右)。持ち帰ることに。



今年はどうなる？

去年は新コロ拡大で6月までの搭乗予約がストップ。

今回とりあえず行くことができたが、すでに予約3便が欠航の知らせあり、この後どうなることやら...

昨年後半から追い始めた幼虫たち、無事に成長してもらい、無事に出会いたいものです。(できれば蛹までは)

4月中旬のジャノメ幼虫、見ることで良かったが、夜の天候が悪かったからか(?)、夜間摂食を観察できず、残念。

トレイルカメラをしかけるも何も映っていなかった...

※20日の活動内容は、永盛さんのPDFをご覧ください。